

調査・統計 NOW

■ 景気 (GDPと日銀短観)

実質GDP(全国)及び日銀短観(全国、九州・沖縄の業況判断DI)



(資料)内閣府、日本銀行 本店、日本銀行 福岡支店

■ 景況 (福岡市・北九州市・久留米市)

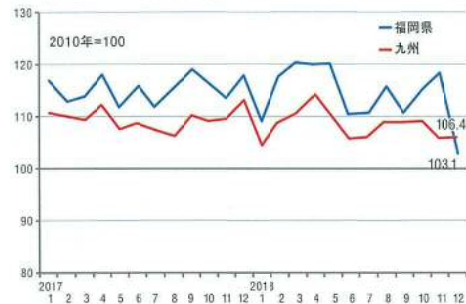
福岡市・北九州市・久留米市の業況判断DI



(資料)福岡商工会議所、北九州商工会議所、久留米商工会議所

■ 生産

鉱工業生産指数の推移(九州・福岡県)



(資料)福岡県、九州経済産業局

■ 実質GDPは実質成長率、名目成長率ともに上昇～

■2018年10～12月期の実質GDP(2次速報値)は535兆円で前期比0.5%増、年率換算で1.9%増となり、2四半期ぶりにプラスとなりました。民間企業設備を中心に民間需要が上昇したことが要因です。

■ 全国、九州・沖縄景況感ともに改善～

■2018年12月の日銀短観の業況判断DI(全産業)は、前回9月調査に比べて、全国は1ポイント改善(15→16)、九州・沖縄は1ポイント改善(17→18)となりました。3か月前の見通しは、全国が6ポイント悪化(16→10)、九州・沖縄は3ポイント悪化(18→15)となりました。

■ 福岡市、北九州市、久留米市ともに改善～

■2018年10～12月期の福岡県主要3都市における地場企業の業況判断DIは、前期に比べて、福岡市は5.3ポイント改善(▲7.2→▲1.9)、北九州市は2.0ポイント改善(▲6.0→▲4.0)、久留米市は5.5ポイント改善(▲23.7→▲18.2)となりました。

■翌四半期(2019年1～3月期)の予測業況判断DIは前期に比べて、福岡市は1.8ポイント悪化(▲1.9→▲3.7)、北九州市は2.0ポイント悪化(▲4.0→▲6.0)、久留米市は5.5ポイント悪化(▲18.2→▲23.7)の見込みとなっています。

■ 福岡県の実産は2カ月連続の低下～

■2018年12月の福岡県の実産生産指数(季節調整値)は103.1となり前月比で5.1%の低下となりました。内訳として、輸送機械工業、食料品・たばこ工業が低下しましたが、非鉄金属工業、窯業・土石製品工業は上昇しました。

■ 九州の実産は2カ月ぶりに前期比増加～

■2018年12月の九州の実産生産指数は106.4となり、2カ月ぶりに前月比で増加しました。パルプ・紙・紙加工工業、輸送機械工業等は上昇しましたが、生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業等が低下しました。

■ 公共投資(公共工事請負金額)

公共工事請負金額(福岡県)の推移



(資料)西日本建設業保証機

■ 公共投資は前年同期に比べ2カ月ぶりのマイナス～

■2019年1月の福岡県の公共工事請負金額は190億円(前年同月比15.6%減)となりました。発注者別にみると、「国」、「その他公共的団体等」が減少し、「県」、「市町村」は増加しました。

■ 住宅投資(新設住宅着工戸数)

新設住宅着工戸数(福岡県)の推移



(資料)国土交通省

(注)新設住宅着工戸数は、持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の合計を示す。

■ 住宅投資は前年同月比増加～

■2019年1月の福岡県の新設住宅着工戸数は前年同月比10.9%増の3,199戸となりました。利用関係別にみると、持家(同20.9%増)と分譲住宅(同41.2%増)は増加しましたが、貸家(同4.9%減)と給与住宅(同72.2%減)は減少しました。

■ 民間企業設備投資(機械受注額)

機械受注額(船舶・電力除く民間・季節調整値)の推移



(資料)内閣府

■ 機械受注は、足踏みがみられる～

■2019年1月の全国における機械受注額(船舶・電力を除く民間)は8,223億円(前年同月比5.2%減)となりました。製造業・非製造業別にみると、製造業は3,750億円(同8.0%減)、非製造業(船舶・電力除く民間)は4,549億円(同1.3%減)となりました。内閣府は、1月の機械受注額の動向から民間企業設備投資の基調判断を「機械受注は、足踏みがみられる」としました。

(注)機械受注額(船舶・電力除く民間・季節調整値)は個別に季節調整を行っているため、製造業と非製造業の受注額合計は全体の受注額と一致しない。

調査・統計 NOW

個人消費（大型小売店、コンビニエンスストア）



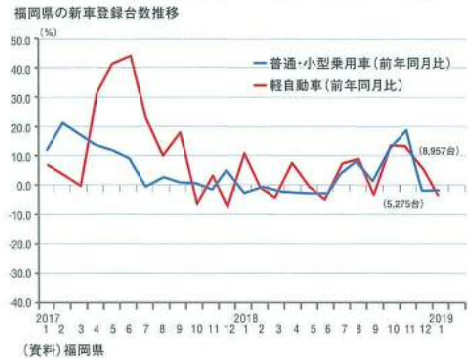
～百貨店増加、スーパー減少～

■2019年1月の福岡県の大規模小売店販売額は、百貨店が280億円(前年同月比0.8%増)、スーパーが298億円(同1.9%減)となりました。百貨店は、身の回り品等の売上が増加しました。スーパーは、気温が高く推移した影響で冬物衣料の動きが鈍かったことや、野菜の相場安により生鮮食品を中心とする飲食料品の動きが鈍かったなどから売上が減少しました。

～コンビニは88ヵ月連続の増加～

■2019年1月の九州のコンビニエンスストア販売額は1,062億円(前年同月比3.1%増)となりました。ファストフードや調理パン等の総菜等が好調であり売上が増加しました。

個人消費（乗用車新車登録台数）



～普通車2か月ぶりの増加、小型乗用車は3か月連続、軽自動車は4か月ぶりの減少～

■2019年1月の福岡県における新車登録台数は、普通・小型自動車は8,957台(前年同月比2.0%減)、軽自動車は5,275台(同3.7%減)となりました。

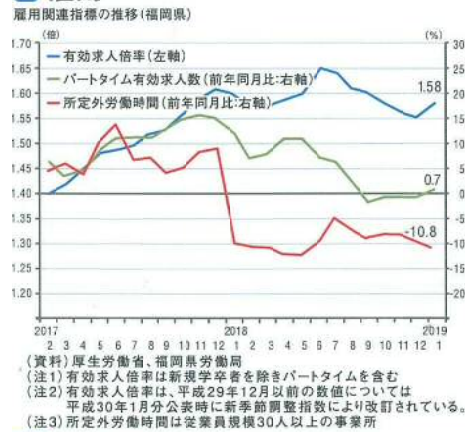
宿泊者数



～日本人宿泊者数、外国人宿泊者数ともに減少～

■2018年12月の福岡県の実宿泊者数は133万8,040人(前年同月比12.1%減)となりました。日本人、外国人別で見ると、日本人宿泊者数は108万2,290人(同12.7%減)、外国人宿泊者数は25万5,750人(同9.7%減)となりました。前年同月に比べて日本人宿泊者数は7か月ぶりの減少、外国人宿泊者数は13か月ぶりの減少となりました。

雇用



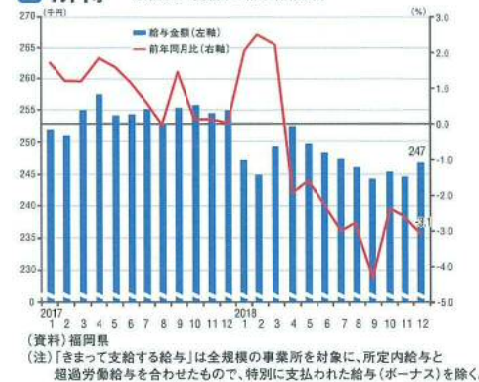
～有効求人倍率は2か月連続の増加～

■2019年1月の福岡県の有効求人倍率は前月比0.03ポイント増加の1.58倍となりました。製造業のうち、非鉄金属製造業、業務用機械器具製造業が増加しましたが、石油製品・石炭製品製造業、船舶製造・修理業、船舶機関等が減少しました。

～残業時間は減少、パート求人は増加～

■2019年1月の雇用関連の先行き指標である福岡県の所定外労働時間は、前年同月比10.8%減の10.7時間、2019年1月のパートタイム有効求人数は同0.7%増の49,938人となりました。

所得



～給与は前年同月から減少～

■2018年12月の福岡県の給与は24万7,094円(前年同月比3.1%減)となりました。
 ■久留米市商工会議所が四半期毎に公表している「久留米地場企業業況調査」の2019年10～12月期の賃金DIは、2018年7～9月期に比べ11.6ポイント減の33.9となりました。

物価



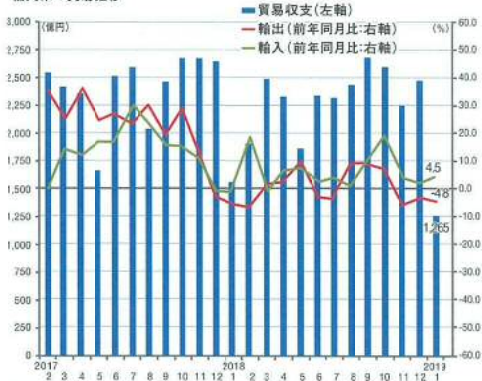
～福岡市、全国ともに上昇～

■2019年1月の福岡市の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比0.4ポイント上昇の101.5となりました。費目別にみると、家具・家事用品、被服及び履物等は下落していますが、保険医療、食料等が上昇しています。
 ■2019年1月の全国の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比0.8ポイント上昇の101.2となりました。費目別にみると、交通・通信等が下落し、光熱・水道等が上昇しています。

調査・統計 NOW

■ 貿易

福岡県の貿易推移



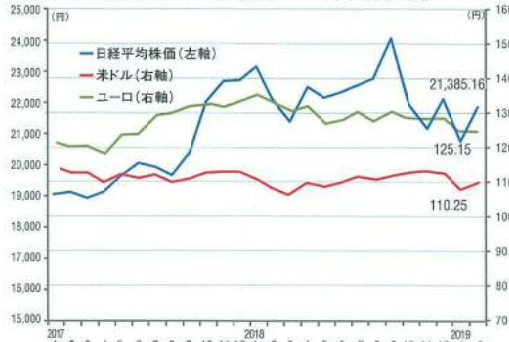
～輸出は3か月連続の減少、
輸入は10か月連続の増加～

■ 2019年1月の福岡県における貿易額は、輸出が3,739億円(前年同月比4.8%減)、輸入が2,473億円(同4.5%増)となりました。九州経済圏の主要品目の動向をみると、輸出は自動車、半導体等電子部品等が増加したものの、半導体等製造装置等が減少しました。輸入は電気回路等の機器等が減少したものの、原租油、金属鉱及びくず等が増加しました。

■ 2019年1月の福岡県における貿易収支は、1,265億円の黒字(輸出超過)となりました。貿易収支の黒字幅は前年同月比19.0%減となっています。

■ 株価と外国為替

日経平均株価(月末終値)と外国為替(ドル、ユーロ 月中平均値)の推移



～日経平均は上昇したが米中貿易で陰り～

■ 2019年2月28日の日経平均株価は21,385円16銭となり、1月31日に比べて611円67銭上昇しました。しかし、米中貿易協議の不透明感と米株安を受けて、月末にかけてマイナス圏で推移しました。

～ドル/円、ユーロ/円ともに円安～

■ 2019年2月のドル/円レート(平均)は110円25銭となり、前月比1円13銭の円安ドル高となりました。ユーロ/円レート(平均)は125円15銭となり、0円53銭の円安ユーロ高となりました。

■ 株価(アメリカ・中国との比較)

株価の推移

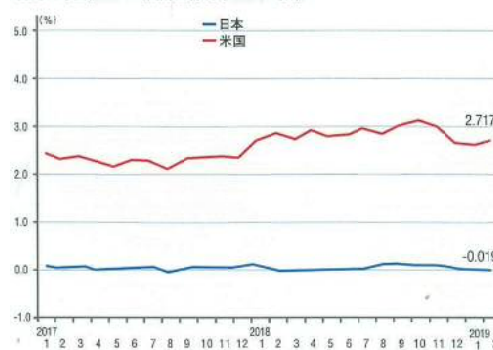


～日経、ダウ、上海ともに上昇～

■ 2019年2月28日の日経平均株価(2010年平均=100)は216.2となり、1月31日に比べて6.2ポイント上昇しました。ダウ平均株価は244.6となり同8.6ポイント上昇、上海総合指数は105.2となり同12.8ポイント上昇しました。アメリカが、中国製品の関税引き上げ延期を表明するなど、米中の貿易摩擦の緩和に対する期待感が相場上昇につながり、日経平均株価、ダウ平均株価、上海総合指数すべて上昇となりました。

■ 長期金利

新発10年国債利回り(長期金利:月末終値)の推移



～日本の長期金利は5か月連続の下落～

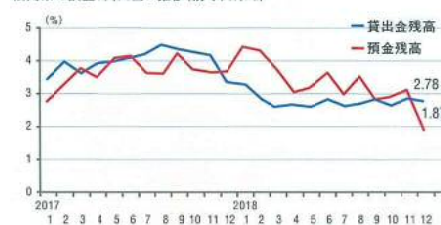
■ 2019年2月28日の日本の新発10年国債利回りは1月31日に比べて0.025ポイント下落し、▲0.019%となりました。1月末のFRBによる「利上げ打ち止め」の声明を受け日本の金利も低下しています。

～米国は、利上げ打ち止め見込み～

■ 2019年2月28日の米国の新発10年国債利回りは1月31日に比べて0.084ポイント上昇の2.717%となりました。FRBは、減速が予測されている米国経済への配慮から、利上げの打ち止めを示唆しました。

■ 預貸金

福岡県の預金、貸出金の推移(前年同月比)



～貸出金・預金ともに増加～

■ 2018年12月の福岡県の貸出金残高は、前年同月比2.78%増の19兆8,206億円(5,352億円増)となりました。

■ 2018年12月の福岡県の預金残高は、前年同月比1.87%増の26兆1,073億円(4,805億円増)となり、法人・個人ともに増加しました。

■ 企業倒産

倒産件数・負債総額(福岡県)



～倒産件数、負債総額ともに増加～

■ 2019年1月の福岡県における倒産件数は40件(前年同月比20件増)、負債総額は95億7,800万円(同76億3,800万円増)となりました。産業別の倒産件数は、情報通信業(0→6件)、サービス業他(6→11件)、建設業(3→7件)等が増加し、前年同月比で減少した業種はありませんでした。また地区別の倒産件数は、福岡地区23件(前年同月比9件増)、北九州地区9件(同6件増)、筑後地区8件(同5件増)となりました。負債総額は大型倒産の発生により大幅に増加しました。